

町村協会だより 39 (留萌支庁管内小平町)

会長を先頭に会員加入促進運動を展開

第三十九回目として紹介します協会は、留萌支庁管内の南部に位置し、日本海に囲まれ、夏には多数の海水浴客で賑わう町の小平町身体障害者福祉協会（福井紀道会長）です。

同協会は、昭和五十六年五月に他の障害者団体と再編成し、身体障害者同士が助け合い、いたわり合い、励



視察研修旅行(北海道リハビリテーションセンター)

ましあつて会員の福祉の増進を図ることを目的として設立されました。

役員及び執行体制は、福井会長をトップに、副会長三名、理事六名、監事二名の計十二名で構成、さらに町内四支部にも支部長を置き、緊密な連携のもと会を運営しております。また、現在の会員数は百七名おり、各行事において親睦と交流を深めております。



視察研修旅行(白老町)

主な年間行事及び活動内容

- ▼役員会・総会
- ▼視察研修旅行(一泊二日)
- ▼留萌支庁地区身体障害者福祉協会総会・理事会
- ▼留萌支庁地区主催指導者研修
- ▼るもい管内ふれあい大会への参加

小平町身体障害者福祉協会PR

同協会の事務局は、社会福祉協議会内にあり、各福祉団体との連携を密にしております。しかし、当

協会も若い会員の入会が伸び悩んでおり、高齢化が進み会員は減少傾向にあります。



留萌管内ふれあい大会

す。こうした危機感から、ここ数年は会員加入促進を重点目標に掲げ、福井会長を先頭に組織をあげて会員の掘り起こしに取り組んでまいりました。その結果その成果が見え始めており、少しずつではありますが賛助会員の加入も増え、視察研修旅行等の行事の際には、ヘルパー的な役割を担いながら参加して頂いております。

協会の収入は年会費(千円)と、共同募金会からの配分金、寄付金で賄われております。



北海道身体障害者福祉大会参加